

「日本庭園を語ろう」

～通訳案内士の視点で日本庭園を楽しむコツ～

2016年8月25日実施 JGA 第一支部研修 終了報告

第一支部運営委員会主催の研修「日本庭園を語ろう」が8月25日（木）開催されました。当研修は今年で4回目を迎え毎回好評を得ており、今回も全国各地より、正会員50名、非会員4名が参加され、関東圏のみならず、愛知、兵庫、広島からもお越し頂きました。研修の目的はどんな庭を案内する事になっても、必ず何か見どころ、説明のしどころを見つけて、まず通訳案内士が庭を楽しむ、そしてお客様にも日本の庭の魅力をお伝えする、そのコツを学ぶことでした。研修は、二部構成で行われました。午前には日本庭園の要素が詰まった皇居東御苑にて実地研修。午後の座学研修では当日配布された日本庭園資料(保存版)を使いながら日本庭園の基本的な知識や見どころを学び、午前の実地研修を振り返りながら、座学で得た知識を確認しました。



午前の実地研修は和田倉噴水公園に真夏の日差しの下に集合し（9:30～11:00）徒歩スタート。皇太子ご夫妻の御成婚を記念して完成された噴水のある和田倉噴水公園より江戸城遺構を望み、皇居前広場（砂利のある所は海、黒松と緑は島の風景～ドライ・ランドスケープ・ガーデンである）や街路樹の説明を聴き、大手門より東御苑に入りました。三の丸尚蔵館脇の十月桜～ツツジの刈り込みの様子（刈り込みも色々な形がある）～二の丸庭園に入り～二の丸雑木林で木陰の暗さを感じ～陽射しあふれる池に出て（暗から明の効果）～都道府県の木では各県の特徴が分かる～池周りの石灯籠（石灯籠を入れると良い写真が撮れる）、汀（みぎわ）の作られ方、中の島、鯉、庭石～滝・水（水の流れた、上流と下流の景色）～山～飛び石～石橋～八ッ橋～竹林へと歩きながらの話は、沢山の興味深くガイド時に使える貴重な話題にあふれていました。参加者は暑い日中汗を拭きながら熱心に、メモを取ったりして聞き入っていました。

午後の部は港区の勤労福祉会館にて座学（13:30～16:45）。テキストの例として有名な日本庭園の 슬라이ドを見ながら、池沢講師の情報に富んだ話。それに上手に合いの手を入れる木脇委員のトークと補佐役の長屋委員の話も加わり、参加者は飽きることなく長時間熱心に聞き入っていました。休憩を挟んで参加者も加わってQ&Aを検討しました。その後はスライドを使って浜離宮庭園巡りながら、お客様をご案内時する際の大事なポイントも教えて頂きました。



研修後、参加者の多くの皆様から大変参考になったとのコメントを頂き、無事庭園研修は終了しました。